

科目名 (科目番号)	地域・在宅看護援助論 (時間割参照)	教員名	藤咲美輝 福田久子	学科等	看護	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	演習	オフィスアワー	A313研究室(藤咲)	
授業概要	地域・在宅看護における援助や援助方法(対人援助・フィジカルアセスメント・技術展開)、看護過程(看護計画立案)など、療養者への支援に必要な知識・技術について理解する。さらに、療養者を含めた地域で生活する人々とその家族を対象とした生活支援における看護職の役割と機能、関係機関や多職種との連携・協働による在宅支援について学びを深める。							
目的・目標	目的:地域・在宅看護で必要とされる看護技術について理解する。また、地域・在宅看護における紙上事例を展開し、療養者と家族、その取り巻く環境と状況に応じた地域・在宅看護の実践を学び、既存の看護の知識を応用し、地域・在宅看護の実践に結び付ける。 目標 :①療養者への生活援助や医療処置に必要な看護技術を習得できる。 ②関係機関や多職種との連携・協働の実践について学び、必要性が理解できる。 ③地域・在宅看護の特性を踏まえ、紙上事例を通して看護過程が展開できる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	オリエンテーション 地域・在宅看護実践とは	到達目標:授業概要、地域・在宅看護を行う上での心構えや留意点を理解する。 学習内容:授業計画のオリエンテーション及び地域・在宅看護実践の基本について学習する。					
	2	地域・在宅看護実践とは	到達目標:地域・在宅看護を行う上での心構えや留意点を理解する。 学習内容:地域・在宅看護実践の基本について学習する。					
	3	生活援助と医療処置①	到達目標:療養者の暮らしを支える看護技術を習得する。 学習内容:療養環境調整/活動・休息/食生活・嚥下について学習する。					
	4	生活援助と医療処置②	到達目標:療養者の暮らしを支える看護技術を習得する。 学習内容:排泄/清潔・衣生活/苦痛の緩和・安楽確保について学習する。					
	5	生活援助と医療処置③	到達目標:療養者の暮らしを支える看護技術を習得する。 学習内容:呼吸・循環について学習する。					
	6	生活援助と医療処置④	到達目標:療養者の暮らしを支える看護技術を習得する。 学習内容:創傷管理/与薬について学習する					
	7	療養者の看護①	到達目標:療養者が抱える疾患の特徴に応じた援助方法について理解する。 学習内容:慢性閉塞性肺疾患(COPD)、筋萎縮性側索硬化症(ALS)、終末期がん、脊髄損傷、重度心身障害児、認知症などの疾患を抱える療養者の看護について学習する。					
	8	療養者の看護②						
	9	フィジカルアセスメント①	到達目標:地域・在宅看護を行うためのフィジカルアセスメントの重要性を理解する。 学習内容:地域・在宅看護で必要なフィジカルアセスメントについて学習する。					
	10	フィジカルアセスメント②	到達目標:地域・在宅看護を行う上で必要なフィジカルアセスメントを実践できる。 学習内容:地域・在宅看護で必要なフィジカルアセスメントについて演習から学ぶ。					
	11	地域・在宅における時期別看護	到達目標:各期の看護の主な特徴や目的を理解する。 学習内容:地域・在宅看護を受ける人の状態に着目して、各期に必要な看護を学ぶ。					
	12	多職種連携・協働	到達目標:地域・在宅看護実践における多職種連携・協働について理解する。 学習内容:医療・福祉・介護関係者との連携、個人・団体・機関との連携について学ぶ。					
	13	地域・在宅看護マネジメント	到達目標:地域・在宅看護マネジメントについて理解する。 学習内容:地域・在宅看護におけるマネジメントの考え方を学ぶ。					
	14	在宅療養支援	到達目標:在宅療養の展望や課題について理解する。 学習内容:地域・在宅看護の学びを統合して、展望や課題を学習する。					
	15	在宅療養支援	到達目標:在宅療養の展望や課題について理解し、説明することができる。 学習内容:展望や課題について学びを発表する。					
	16	地域・在宅看護活動の創造	到達目標:地域・在宅看護活動の創造について理解する。 学習内容:看護師が創造した地域・在宅看護活動について学ぶ。					
	17	対人援助・技術展開①	到達目標:訪問看護シミュレーション演習を通して、訪問時の礼儀、マナーについて理解する。 在宅にある物品を工夫し、在宅で洗髪援助のシナリオを作成できる。 学習内容:訪問看護の実際(訪問マナー、フィジカルアセスメント、洗髪)について学習する。					
	18	対人援助・技術展開②	到達目標:訪問看護シミュレーション演習を通して、訪問時の礼儀、マナーについて理解する。 在宅にある物品を工夫し、在宅で洗髪援助のシナリオを作成できる。 学習内容:訪問看護の実際(訪問マナー、フィジカルアセスメント、洗髪)について学習する。					
19	対人援助・技術展開③(演習)	到達目標:シナリオに基づき、在宅を想定した洗髪援助(ロールプレイ)ができる。 学習内容:訪問からフィジカルアセスメント、洗髪の一連の看護援助をシナリオに基づき実践する。						

授業計画	20	対人援助・技術展開④(演習)	到達目標:シナリオに基づき、在宅を想定した洗髪援助(ロールプレイ)ができる。 学習内容:訪問からフィジカルアセスメント、洗髪の一連の看護援助をシナリオに基づき実践する。
	21	訪問看護の実際	到達目標:実際に行われている訪問看護をイメージでき、訪問看護の役割を理解する。 学習内容:招聘講師による講義「訪問看護の実際」について学習する。 (外部講師:訪問看護ステーションうしく管理者 福恵節子氏)
	22	看護過程①	到達目標:地域・在宅看護における看護過程の特徴を理解し、アセスメント・関連図の視点を理解する。 学習内容:地域・在宅における看護アセスメント・関連図を学ぶ。
	23	看護過程②	到達目標:地域・在宅看護における看護過程の特徴を踏まえ、アセスメント・関連図から看護問題を導き出す視点を理解する。 学習内容:地域・在宅における看護問題・看護計画を学ぶ。
	24	看護過程③(演習)	到達目標:グループで紙上事例を用いて情報を整理し、アセスメントができる。 学習内容:地域・在宅看護における紙上事例を用いて、情報収集及びアセスメントをする。
	25	看護過程④(演習)	到達目標:グループで紙上事例を用いて情報を整理し、アセスメントができる。 学習内容:地域・在宅看護における紙上事例を用いて、情報収集及びアセスメントをする。
	26	看護過程⑤(演習)	到達目標:グループで紙上事例を用いて情報を整理し、アセスメントをもとに関連図が作成できる。 学習内容:地域・在宅看護における紙上事例を用いて、アセスメントから関連図を作成する。
	27	看護過程⑥(演習)	到達目標:グループで紙上事例を用いて情報を整理し、看護問題・看護計画が立案できる。 学習内容:地域・在宅看護における紙上事例を用いて、看護問題・看護計画を立案をする。
	28	看護過程⑦(演習)	到達目標:グループで紙上事例を用いて情報を整理し、看護問題・看護計画が立案できる。 学習内容:地域・在宅看護における紙上事例を用いて、看護問題・看護計画を立案をする。
	29	看護過程のまとめ・発表⑧	到達目標:各グループで発表した事例の看護計画をととして、在宅における看護過程について理解する。 学習内容:グループで展開した看護計画を発表し、学生主体で討論する。
	30	看護過程のまとめ・発表⑨	到達目標:各グループで発表した事例の看護計画をととして、在宅における看護過程について理解する。 学習内容:グループで展開した看護計画を発表し、学生主体で討論する。
成績評価の方法・基準	対面・オンライン共通: レポート(個人10%、グループワークレポート20%、外部講師10%)(40%) + 筆記試験(60%) で評価する。		
教科書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実際 地域・在宅看護論2	河原加代子 著者代表	医学書院
参考図書	1.ナースング・グラフィカ 地域療養を支えるケア 第8版 2.ナースング・グラフィカ 地域療養を支える技術 第3版 3.強みと弱みからみた地域・在宅看護過程 第2版	1.臺有佳 ほか編 2.臺有佳 ほか編 3.河野あゆみ 他編	1.メディカ出版 2.メディカ出版 3.医学書院
教員からのメッセージ	地域・在宅看護援助論の演習等を通して、在宅で療養生活している方へ思いを寄せながら療養者が望む生活への支援とはどうあるべきかを考え、看護学生として一段ステップアップすることを期待しています。招聘講師の講義ではレポート課題を課します。病院で看護師として勤務し、訪問看護ステーションにて実務研修の経験がある教員がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。		